

大阪市 中 教 研 会 報

No. 140

編集者 大阪市立中学校教育研究会

発行人 大阪市立中学校教育研究会

会長 坂 本 政 隆

発行所 大阪市立中学校教育研究会

大 阪 市 立 緑 中 学 校

TEL 06-6911-3688



『主体的な学びを 支援する伴走者として』

大阪市教育局委員会事務局 指導部

初等・中学校教育担当課長 中 道 篤 史

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

会員の先生方におかれましては、各教科・領域での理論の構築と教育内容の調査・研究ならびに授業実践等に取り組まれるとともに、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、そのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

この3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で、誰もが先を見通せず、経験したことのない状況が続く、今もなお警戒が必要な状況にあるなか、校長先生をはじめ教職員のみなさまにおかれましては、児童生徒等の学びを保障するため、校長先生のリーダーシップのもと、教職員一丸となって、感染症対策と教育活動の両立に大変なご尽力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、令和3年1月の中央教育審議会の答申にある『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～によりますと、時代の変化に対応して求められる資質・能力として、近年では、AIやロボティクス、ビッグデータ、IoTといった技術が発展した「Society5.0時代」の到来に向けた情報活用能力等が挙げられ、特に学習履歴（スタディ・ログ）の利活用など、教員のデータリテラシーの向上が一層必要となってくると考えられます。さらに、GIGAスクール構想の加速により、教員がICTを活用しながら、児童生徒の個別最適な学びと、協働的な学びを実現していくことが重要であり、そうした社会に対して教員や学校は、変化に背を向けるのではなく、訪れる変化を「前向きに受け止めていく」ことが求められています。

教員が、時代の変化に対応して求められる資質・能

力を身に付けるためには、一人一人が養成段階に身に付けた知識・技能だけで教職生涯を過ごすのではなく、求められる知識・技能が変わっていくことを意識して、継続的に新しい知識・技能を学び続けていくことが必要であり、これにより、児童生徒の学びを最大限に引き出す質の高い指導が可能となります。

その際、教員は学校の授業において、児童生徒の知識・技能だけでなく、「思考力」「判断力」「表現力」等や学びに向かう力、人間性等を育成するために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていくことや、日々の授業の中で児童生徒の学習状況を把握し、一人一人にとって最も有効な手立てとは何かを考え、児童生徒を褒めたり励ましたりしながら、児童生徒の学習改善につなげることが期待されています。このことから、Society5.0時代の到来や学校現場におけるICT環境の整備が進んだとしても、教員としての基本的な役割が変わるものではありません。

教育委員会といたしましては、今年度より施行されました「大阪市教育局振興基本計画」に即した教育活動の推進に向け、引き続き大阪市立中学校教育研究会との緊密な連携を図るとともに、学力向上支援チーム事業により、教育ブロック担当指導主事やスクールアドバイザーなどから構成される「支援チーム」を活用し、教員の授業力向上への支援を図ってまいります。

また、各校が、多様な知識・経験を持つ人材との連携や、当該人材を組織内に取り入れることにより、社会のニーズに対応しつつ、高い教育力を持つ組織となるための大学連携にも努めてまいります。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、「自ら学ぶ力」を育み、創造性豊かな個性あふれる子どもたちの育成をお願いいたします。



教師の指導力アップデートの 機会（チャンス）！

大阪市立中学校教育研究会

副 会 長 松 井 信 次

新型コロナウイルス感染症拡大の影響がまだまだ心配されますが、大阪市立中学校教育研究会の最も大きな行事である全市研究発表会（令和 4 年 10 月 12 日）が近づいてまいりました。それに先立ち、9 月 2 日（金）各ブロック研究発表会では、会員の皆様が各部門・各ブロックで積極的に研究活動を進めていただきましたことに感謝申し上げます。

本研究会の今年度の研究テーマは「よりよい未来社会の創り手となる資質・能力の育成」は～学びの質を高めるカリキュラム・マネジメントを通して～を主題として、全市研究発表会では 17 部門で開催される予定です。【生活指導部：11 月 2 日（水）】

この全市研究発表会は、年に一度、午後の貴重な授業時間に、大阪市中学校教育研究会会員の先生方による研究成果を発表する場です。近年、学習指導要領・大阪市教育振興基本計画の改定があり新しい教育目標が掲げられています。しかしながら同時期に感染症拡大の影響で、研修会も中止や縮小、授業実践ではオンライン授業等 ICT 機器の導入が急速に進みました。

その中、会員の先生方一人ひとりが、教科指導にお

いて日々の授業を見直し、生徒が主体的に学習する意欲を高めるために日々研鑽されているところですが、なお一層に進化・充実させていくことが求められています。

特に 2 学期には学校行事が多くあり、日々の校務に追われている中で、研究会の発表準備や参加し研修を深める時間を確保することが困難に感じるかもしれませんが、なによりも、私たち教員が自ら研修に対する意欲や情熱を持つことが必要であることはいうまでもありません。

この機会に「人に教えることとは」など教育の原理を再考されるとともに、日々の実践において「教える人にとって、教える側が子どもから多くのことを学ぶことがある。」とも言われています。教科・領域によっては、他校の生徒の様子をうかがえるチャンスでもあります。

会員の先生方、ぜひ研究発表会に参加して、お互いにアップデートしませんか。市内すべての中学校の会員の先生方で本研究会を盛りあげていただきますよう心からお願いいたします。

新 ブ ロ ッ ク 委 員 長 の あ い さ つ

＝第 2 ブロック＝

「つながり、学び、連携を深める研究活動へ」

委員長 渡 邊 進 司（都 島 中）

本年度は、コロナ禍ではありますが、学びを止めない教育活動として、2 ブロック研究発表会を開催いたしました。夏季休業中の準備段階では、感染者数が増え、運営に携わっていただいた専門委員の先生方には大変ご苦労をおかけしました。このような困難な状況ではありましたが、研究活動を粘り強く推進していただきました。第 2 教育ブロックでは、本年度も「主体的で、協働的な学び手を育む教育の創造－『つながり』

を生かした学びの場を通して－」を継続した研究テーマとして進めています。コロナ禍において、情報機器をうまく活用した、オンラインの発表開催もあります。取り組みの進歩を感じました。今、困難な時代だからこそ、改めて進化と工夫を味方にできる日々のチャレンジの必要性を感じています。会員の皆様のご健康とともに一日も早い新型コロナ感染症の終息を願っています。

=第3ブロック=

「新しい未来の姿を構想する」

委員長 児 玉 敏 和 (成 南 中)

年度当初は新型コロナウイルス感染拡大も落ち着きを見せ、今年度は3年ぶりに様々な行事が予定通り実施できるかなと思っていた矢先、夏場に向け感染者が急増し、大阪府のコロナ警戒信号に赤が点りました。そうした行先が不透明な中、子どもたちの学びを止めないだけではなく、より効果的に子どもたちの学びを進めるための研究に取り組んでまいります。

今年度の第3教育ブロックの研究主題は「豊かな心の醸成と持続可能な社会の創り手としての資質・能力

の育成 ～新しい未来の姿を構想した実践交流～」といたしました。まさに現状を踏まえ、今後の在るべき姿を構想し、子どもたちの不安を解消して、成長を支える教育活動の実現に向けた研究や実践交流を目指しております。9月2日のブロック研究発表会では、各部門の特徴や課題に応じた発表を実施いたしました。今後とも、みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

=第4ブロック=

「研究に火を絶やさない」

委員長 横 田 勝一郎 (東住吉中)

これまで新型コロナにより、教育はさまざまな制約を受けてきました。教育研究についても、大きな影響がありました。多くの研究発表会が中止を余儀なくされ、研究成果の共有にも滞りが出たのではないのでしょうか。また、人が集えなくなったことによる「つながり」の喪失も、教育研究の推進にブレーキをかけるものでした。

この原稿を書いている8月下旬、新型コロナの影響は大きいものの、予定どおりブロック研究会が開催されます。

今年度の本ブロックの研究主題は、「見方・考え方を働かせ資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く教育の創造」です。各教科・領域では、研究主題に基づき、実りある研究発表を目指して活動を続けております。

やがて新型コロナ終息の時がやってきます。それがいつかは分かりません。しかし、どのような状況においても人のつながりを大切に、研究に火を絶やさないことはとても大切なことです。

令和 4 年度 大阪市内中学校教育研究会 評議員会記録

【第3回】 令和4年7月4日(月) 16:00～
〈於：大阪市教育センター 7階研修室4〉

評議員会及び会計説明会

〈会計説明会〉

- (1) 令和4年度 会計予算・執行・決算について
- (2) 教育センター直接執行分について
- (3) 会費徴収、資金移管日時等について

〈評議員会〉

- (1) 全市研究発表会・ブロック研究発表会について
- (2) その他
 - ① 役員、専門委員一覧表について
 - ② 全国・近畿大会予定について
 - ③ 部門別研究主題、ブロック別研究主題及び研究発表会予定日一覧について
 - ④ 中教研会報No.139号の原稿作成について
 - ⑤ 総合的読解力特別研究部について

【第4回】 令和4年8月30日(火) 16:00～
〈於：大阪市教育センター 7階研修室4〉

- (1) 全市研究発表会【10月12日(水)】について
- (2) ブロック研究発表会について
- (3) 研修計画について
 - ① 全体研修会【11月10日(木)】15:30～17:00
 - ② 評議員研修会【1月30日(月)】
- (4) 研究集録『研究の歩み』『会報』の作成について
- (5) 小中一貫教育委員会の開催について
- (6) 総合的読解力作業部会について
- (7) その他
 - ① 会計事務連絡
 - ② ホームページについて
 - ③ 連絡事項

令和 4 年度 研 究 発 表 会

10 月 12 日 (水) 15:00 ~ 17:00

※新型コロナウイルス感染症について、日々状況が変化しているため、今後、変更が生じる場合があります。その場合は、各教科・領域からお知らせいたします。

部 門	研 究 主 題	内 容	会 場
1. 国 語	「『生きる力』としての 国語力の育成」 － 自分の思いや考えを深める 言語活動の充実 －	- 公 開 授 業（録画配信による） 「表現の特徴に着目しながら物語を読み、故郷が語っていることを読み取ろう」 新北島中 田 邊 宜 雅 - 研 究 協 議（各中学校ごと） - 指 導 助 言（動画配信による） 大阪市教育センター 総括指導主事 石 田 かおり 様 ※ 事前に録画したものを配信します。	オンラインに よる配信を各 校で視聴して ください。 視聴方法は別 途お知らせし ます。
2. 社 会	「持続可能な社会の形成者として、 社会的な見方・考え方を 深める社会科学習」 （学力向上《授業デザインや カリキュラム構築のため の研究》）	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 授 業 説 明 董 中 山 口 莉 加 - 公 開 授 業（ビデオ） ・地理的分野 「南アメリカ州」 董 中 山 口 莉 加 - 講 演 龍谷大学法学部 准教授 中 本 和 彦 様 ※ 教育センター（研修室 6）より当日配信します。	オンラインに よる配信を各 校で視聴して ください。 15:00開始 各校Teams での視聴 (IDは1つ) でお願い します。
3. 数 学	「未来を創造する数学の 主体的・対話的で深い 学びをめざして」	- 授 業 研 究 報 告 (1 班) 1 年 正負の数・文字式・方程式 花乃井中 廣 田 稔 (2 班) 3 年 一次関数 淀 川 中 浅 井 恵 (3 班) 3 年 標本調査 南 中 濱 田 汐 利 - 講 演 「2030年以降の社会を見据えた数学科における 思考力・判断力・表現力の育成への取り組み」 近畿大学 教職教育部 准教授 西 仲 則 博 様 - 質 疑 応 答 - 講 評 大阪市教育委員会	天 満 中
4. 理 科	「主体的な対話を通し、 未来を担う科学的な思 考・表現力を育む理科 教育」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 公 開 授 業 「光・音・力による現象 1 章 音による現象」 茨 田 中 平 山 真 也 「化学変化とイオン 2 章 電池とイオン」実験あるある 茨 田 中 石 橋 延 裕 - 研 究 協 議 本日の公開授業について 茨 田 中 平 山 真 也 茨 田 中 石 橋 延 裕 - 報 告 事 項 - あ い さ つ（紙面） 大阪市教育委員会	ブロックご と 2 会場 大 阪 市 立 各 中 学 校
5. 音 楽	「未来を切り拓く、 豊かな感性を育む 音楽教育の創造」 －主体的・対話的で 深い学びの実現に向けて－	「がんばる先生支援事業」中 間 発 表 【歌 唱 領 域】 日時：10 月 12 日 (水) 15 時～17 時 - 公 開 授 業 題材「曲想を生かして歌唱しよう」 南港南中 沖 正 樹 - 研 究 協 議 歌唱研究班代表 南港南中 沖 正 樹 - 指 導 講 評 大阪芸術大学特任教授 尾 張 佳 子 様 - あ い さ つ 音楽部部長 有 田 伸一朗(大淀中学校) 「がんばる先生支援事業」中 間 発 表 【器 楽 ・ 創 作 領 域】 日時：10 月 17 日 (月) 14 時 25 分～17 時 - 公 開 授 業 題材「ヨナ抜き音階の雰囲気を意識しお箏を使って歌(旋律)をつくろう」 加 美 中 北 尾 祐 子 - 研 究 協 議 器楽研究班代表 八 阪 中 乾 正 義 - 指 導 講 評 元大阪教育大学特任教授 田 中 龍 三 様 - あ い さ つ 大阪市教育センター 総括指導主事 出 口 み か 様	南港南中 加 美 中

5. 音 楽	「未来を切り拓く、 豊かな感性を育む 音楽教育の創造」 ー主体的・対話的で 深い学びの実現に向けてー	「がんばる先生支援事業」中間発表 【鑑賞(文楽)領域】 日時：10月6日(木) 14時40分～17時 ・公開授業 題材「三味線のルーツをたどろう」 瓜破西中 島田靖子 ゲストティーチャー 仲村奈月様(登川流演奏家) ・研究協議 鑑賞(文楽)研究班代表 東陽中 株本貴成 ・指導講評 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 河合紳和様 国立教育政策研究所教育課程教育センター研究開発部教育課程調査官 ・あいさつ 音楽部部長 有田伸一朗(大淀中学校)	瓜破西中
		「がんばる先生支援事業」中間発表 【ICT活用領域】 日時：10月12日(木) 15時～17時 ・公開授業 題材「音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう ～順次進行と跳躍進行～」 玉津中 吉田季陽子 ・研究協議 ICT研究班代表 阿倍野中 瀧口弘美 ・指導講評とあいさつ 大阪市教育センター総括指導主事 出口みか様	玉津中
6. 美 術	「美術科の本質に迫る 学習をめざして」 ～感性や造形感覚を 高めるために～	・研究発表 「今の自分をみつめて」 夕陽丘中 山田知可子 ・研究協議 ・指導講評 大阪市教育センター指導主事 東影美香様	天王寺中
7. 保 健 体 育	「ソーシャルディスタンスを 確保した新しい保健体育授 業づくり」 ー格技(なぎなた)授業の研究ー	・公開授業 「なぎなた」 墨江丘中 保健体育科 ・実技講習 全日本なぎなた連盟 今浦千信様 ・指導力向上研修報告 鯉江中 小林龍平 ・研究協議 ・指導講評 大阪教育大学 准教授 井上功一様 ・あいさつ 大阪市教育委員会 研究主題に応じた研究授業を行い、Teams を利用し、全市に配信。 事前に参加希望者(50名まで)を募り、研究授業終了後になぎなたの実技 講習を行う。 研究協議までを Teams で配信し、アンケートを実施し、今後の参考にし ていく。	墨江丘中
8. 技 術 ・ 家 庭	「いのち輝く未来社会を 実現(創造)する 技術・家庭科教育」 ～深い学びへと導く、見方・ 考え方を働かせた実践～	・授業実践紹介 技術分野 A 材料と加工の技術 新北島中 門脇力 ・研究発表 家庭分野 B 衣食住の生活 城陽中 石井優子 ・質疑応答 ・研究協議 ・指導助言 大阪市教育委員会	新北島中
9. 英 語	「PDCAサイクルを用いて 主体的に資質・能力向上で きる生徒の育成」 ーその資質・能力を最大限に 生かして主体的にコミュニ ケーションがとれるカリキュ ラムの構築を通してー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・研究発表 「みんなで考えましょう、小中接続したこれからの英語教育」 桃谷中 我妻夏 ・研究協議 ・講演会 「生徒が主体的に学ぶカリキュラム作成のあり方」 大阪教育大学教授 山岡賢三様 ・あいさつ 大阪市教育センター指導主事 竹林潤様	本庄中
10. 道 徳	「多面的・多角的な視点で、 考え議論する道徳教育の創造」 ーペアワークやグループワーク を取り入れた授業づくりを 進めるー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・研究発表 教材「ありガトオ」(あかつき2年-11) 夕陽丘中 朝久日向 ・班別研究協議 ・指導助言 スクールアドバイザー 宮脇賢治様	夕陽丘中

※新型コロナウイルス感染症について、日々状況が変化しているため、今後、変更が生じる場合があります。その場合は、各教科・領域からお知らせいたします。

※新型コロナウイルス感染症について、日々状況が変化しているため、今後、変更が生じる場合があります。その場合は、各教科・領域からお知らせいたします。

11. 特別活動	「生徒一人ひとりが主体的に 生きる特別活動の創造」	。研 究 発 表 1. 生徒会活動 学校活性化事業「がんばる先生支援」グループ B 研究発表 「第 66 回全国特別活動研究協議大会 東京大会報告」 白 鷺 中 泉 和 樹 「令和 4 年度 大阪市ブロック別生徒会交流会報告」 1 B 東 淀 中 飯 山 将 臣 2 B 高 倉 中 塩 見 亮 太 3 B 南港南中 佐 和 保奈美 4 B 田 島 中 紙 原 大 輔 2. キャリア教育 講 演 「SPTランプの出前授業を体験！ 21世紀型スキル（自己理解・キャリアプランニング能力）の育成」 ヒューマンキャンパスのぞみ高校 川 島 浩 様 時 程 1. あ い さ つ 2. 研 究 主 題 3. 生徒会活動実践報告発表 4. キャリア教育ご講演 5. 意 見 交 流 6. 指 導 助 言 大阪市教育センター指導主事 小 池 里 佳 様	大阪市教育センター 研修室 5
13. 特別支援教育	「子どもたち一人一人が、 共に学びに向かい 生 きる力を育む教育をめ ざして」	。講 演 「ポジティブ行動支援を理解して実践する ～問題行動への対応を中心に～」 講 師 大阪教育大学教育学部 准教授 野 田 航 様 。あ い さ つ 大阪市教育委員会	新 北 野 中 (各校へオンライン 配信)
14. 保健養護	「養護教諭の専門性と資 質の向上をめざして」	。第 2 教育ブロック（b 旭区・城東区・鶴見区・東成区）共同研究 「養護教諭の資質向上をめざして ～5 分で伝えるショート保健教材～」 城 陽 中 箕 田 瑞 希 城 東 中 三ヶ崎 晴 香 緑 中 川 上 華 。研 究 協 議 。指 導 講 評 大阪市教育委員会 指導主事 鈴 木 真 美 様	大阪市教育 センター 講 堂 15:00 開始 保健養護部員 のみ参加
15. 情報技術	「多様化する情報を 活用する力を 身につける」	。研 究 発 表 (1) 統計教育部門 「大学入試における統計的な扱いについて」 大阪府立桜和高校 川 口 伊佐夫 様 (2) 新聞教育部門 「全国新聞教育研究大会（千葉県大会）の報告」 築 港 中 西 中 善 彦 校長 「NIE 教育の現状」 南 中 林 葉 子 (3) 情報教育部門 「ICT 教育について」 新東淀中 増 田 卓 三 株 式 会 社 S K Y	大阪市教育 センター 5 F A L ルーム 講 義 室
16. 教育メディア	「『生きる力』と『感動する心』を はぐくむ教育メディアの研究」 ～学校図書館、放送・ 視聴覚教育を通して～	『学校図書館の改革』 ～学校図書館補助員から学校司書へ～ 。講 演 大阪市立中央図書館 学校図書館支援グループ 様 。事 例 報 告 。研 究 協 議	大 阪 市 立 中央図書館 [大会議室]
17. 教育課題	「未来を切り拓く力を はぐくむ教育課程の編成」	。講 演 「未来を切り拓く力を育む学校」 ～力のある学校を目指して～ 講 師 学びコラボレーター 西 本 晃 様（元築港中学校長）	大阪市教育 センター 研修室 4

10 月 12 日の全市研究発表会以外の日に実施された又は実施される部門

11 月 2 日

12. 生活指導	「生活指導上の今日的な課題 を把握し、地域・関係機関 と連携・協働した効果的かつ 組織的な生活指導体制を 研究する」	。講 演 演題 「コグトレについて」（仮題） 講 師 立命館大学教授 宮 口 幸 治 様 。研 究 発 表 1 「大阪市立弘済中学校における認知機能強化トレーニング」 ～ COGET（コグ・イーティ）～ 弘 済 中 長谷川 哲 。質 疑 応 答 。指 導 助 言 大阪市教育委員会 。閉会 あいさつ	大阪市教育 センター
-------------	--	---	---------------